

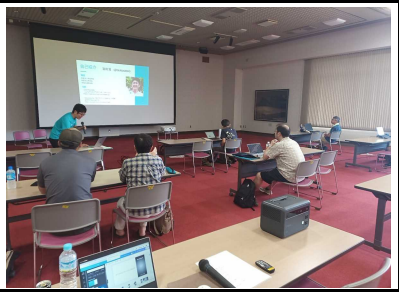






年度	事業名	実施者	内容・効果
令和3年度	強い心と体を作る スポーツ栄養学講座開催事業	雫石中学校 野球部保護者会	<p>町内の小学校高学年から中学生の児童生徒と保護者、教員等を対象に、食育・トレーニング講座を実施。状態に合わせた身体づくりの知識と技術を学ぶことで、日常の筋力トレーニングと食事管理の意識向上が図られた。</p> 
令和4、5年度	盛岡大学附属高等学校 硬式野球部野球教室開催事業	盛岡大学附属高等学校 野球部父母会雫石支部	<p>幅広い世代の野球スキルのレベルアップに繋げるため、町内外の学童を対象に野球教室を実施。甲子園常連校を招待した練習試合も見学できることで町外からも参加があったほか、町内の宿泊施設を利用していただくことで、経済の活性化にも繋がった。</p> 
令和5年度	アプリタウン雫石プロジェクト	阿部 貴日呼	<p>高校生以上の町民を対象に、モバイルアプリ開発講座を実施。難しい印象があるアプリ開発に触れることで、将来的に自身と町にもたらす効果や価値を実感する機会となった。講座後にもコミュニティアプリ「しずったー」を活用した繋がりが継続している。</p> 
令和5・6年度	なりたい自分プロジェクト with アーチェリー	(一社)P. A. R. K	<p>セルフマネジメントができる人材育成に向け、メンタルスポーツと呼ばれているアーチェリーの体験とセルフコーチング研修を実施。小岩井農場やいわて雫石アーチェリーセンターなどの地域資源を活用することで町の活性化にも繋がった。</p> 

<p>令和6年度</p>	<p>雫石と宮澤賢治を語る会 30周年記念事業</p>	<p>雫石と宮澤賢治を 語る会</p>	<p>宮澤賢治の足跡を中心に編集し、当町を訪れるガイドブック的な利活用が期待できる。また、恒例の小岩井農場誌碑、碑前祭に参加した町民は11名であった。</p>	
<p>令和6年度</p>	<p>雫石のどどさい節で交流の輪をひろげよう事業</p>	<p>桜蓮迦</p>	<p>雫石町のPRと【どどさい節】を多くの皆様に知っていただくために、新曲を制作した。チームとして踊るだけでなく、健康体操としてアレンジし町民の皆様の健康づくりにも役立てる活動を今後行っていく。</p>	
<p>令和6・7年度</p>	<p>西山地区の魅力発掘プロジェクト</p>	<p>好恵舎</p>	<p>各種講座及び本の座談会を5回実施した。バリエーションに富んだ講座内容で、参加者の満足度は高く、参加者がさまざまなことに興味を持つきっかけづくりとすることができた。参加者同士の交流による新たなネットワークの構築にもつながった。</p>	
<p>令和6・7年度</p>	<p>雫石銀河ステーション春祭り</p>	<p>株式会社 航和</p>	<p>雫石川園地の桜の開花に合わせ、町内外から多くの来場者を誘致した。飲食や遊具、町内事業者を中心とした物販を通じて地域の活気と魅力を発信し、参加者間の交流を促進。地域経済の活性化と賑わい創出に大きく寄与した。</p>	
<p>令和7年度</p>	<p>雫石サーモンを活用した地域振興</p>	<p>雫石サーモンブランド 化協議会</p>	<p>廃棄されていた規格外の小銀鮭を「甘露煮」として再資源化したことで、食品ロス削減と新たな地域資源の掘り起こしを実現した。試作を通じて商品化への道筋が立ち、地域ブランドの価値向上と生産者の意欲向上に寄与した。</p>	